

第1回ワークショップ結果概要
引田・代継・網代区域（引田・淵上・代継）

日 時：平成30年9月24日（月・祝） 14時～16時
会 場：楓ヶ原会館
参加者：8人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 本日のワークショップについて
4. 情報の共有
5. 質疑応答
6. グループワーク
7. ふりかえり
8. 閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法について説明するとともに、参加者の情報共有として、公共交通を取り巻く当該地域の現状について説明した。

■質疑応答

配布した資料やこれまでの経過について、ワークショップに入る確認のための質疑応答を行った。

問：資料15頁にワゴン車が通行可能な道路が示されているが、もっと多いのではないか。

答：これは一昨年の報告書成果を引用している。自家用車として通行する分にはワゴン車が通行可能な道路はもっと多いが、公共交通としてワゴン車を通す場合は、すれ違い可能な道路幅員が求められ、加えて警察の許可が必要となるため、通行可能な道路は限られることとなる。

問：道路の幅員で通行の可否を決めているということか。

答：ご指摘の通り。

問：今回のワークショップでは、その辺の議論もするのか。

答：道路幅員だけで可否を判断すると議論が先に進まなくなるので、本ワークショップではあまり制約を設けず、自由にご議論いただきたい。

■グループワークの結果 テーマ：私と交通

「日頃、どのような外出をしていますか?」「外出についてどのようなことで困っていますか?」との設問のもと、2つのテーブルに分かれ、テーブルごとに意見を出し合い、後にテーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有した。

■外出の目的と目的地

○通勤・会議

- ・市内、八王子等
- ・都心

○通院

- ・市内：公立阿伎留医療センターなど
- ・近隣市町：福生駅周辺

○買物

- ・市内：東急ストア（秋川）、オザムなど
- ・近隣市町：日の出町のイオンが多い

○その他

- ・飲み会：秋川駅周辺
- ・孫の通学の送迎：武蔵引田駅
- ・葬儀：ひので斎場
- ・習い事：日の出町、市体育館等

■交通手段

- ・市内や近隣市町への外出は、基本的に自家用車を使用
- ・近所のスーパーへ行くときは、自転車・徒歩
- ・通勤ではバスの利用もある
- ・飲み会のときは、徒歩・バス

■外出で困っていること

- ・バス停が遠い、バスが不便
- ・自家用車以外の交通手段がない
- ・バスは本数が少ない
- ・タクシーが不便（特に介護タクシーは料金が高い）
- ・武蔵引田駅周辺は、駐車スペースが少ない
- ・雨の日は雨具を用意して歩くため、荷物が多いと大変
- ・南北方向の交通手段がない
- ・自家用車の運転ができなくなると、外出しなくなる
- ・南北方向の坂が大変（特に北行き）で、雪の日などは坂が上がれず広い道まで出られない
- ・普段ほとんどバスに乗らないため、バスがどこまで行っているかも知らない
- ・断捨離で車を一台にしたため、夫婦間で車の取り合いが発生する
- ・高齢者でも免許を返納せず乗り続けている人が多いため、交通事故が不安
- ・斎場へは車でしか行けないので、お清めの席（通夜等）でお酒が飲めない
- ・自分で運転できない人は、生協やスーパーの宅配サービスを活用している
- ・るのバスは乗ったことがなく、滅多に見ない

■テーブル別結果概要

テーブルA

■外出の目的と目的地

○通院

- ・市内：公立阿伎留医療センター
- ・近隣市町：福生駅周辺

○買物

- ・市内：秋川駅近くの東急ストアが多い
- ・近隣市町：日の出町のイオンが多い

○その他

- ・飲み会：秋川駅周辺
- ・孫の通学の送迎：武蔵引田駅

■交通手段

- ・市内や近隣市町への外出は、基本的に自家用車を使用
- ・近所のスーパーへ行くときは、自転車・徒歩
- ・飲み会のときは、徒歩・バス

■外出で困っていること

- ・バス停が遠い、バスが不便
- ・タクシーが不便（特に介護タクシーは料金が高い）
- ・武蔵引田駅周辺は、駐車スペースが少ない
- ・雨の日は雨具を用意して歩くため、荷物が多いと大変
- ・南北方向の交通手段がない
- ・自家用車の運転ができなくなると、外出しなくなる

テーブルB

■外出の目的と目的地

○通勤・会議

- ・市内、八王子市等
- ・都心

○通院

- ・市内の病院

○買物

- ・市内のオザム、東急など
- ・日の出町のイオン

○その他

- ・葬儀：ひので斎場
- ・習い事：日の出町、市体育館等

■交通手段

- ・目的を問わず自家用車が多い
- ・通勤ではバスの利用もある

■外出で困っていること

- ・引田地域は南北の交通手段がない
- ・南北方向の坂が大変（特に北行き）で、雪の日などは坂が上がれず広い道まで出られない
- ・自家用車以外の交通手段がない
- ・バスは本数が少ない
- ・普段ほとんどバスに乗らないため、バスがどこまで行っているかも知らない
- ・断捨離で車を一台にしたため、夫婦間で車の取り合いが発生する
- ・高齢者でも免許を返納せず乗り続けている人が多いため、交通事故が不安
- ・斎場へは車でしか行けないので、お清めの席（通夜等）でお酒が飲めない
- ・自分で運転できない人は、生協やスーパーの宅配サービスを活用している
- ・るのバスは乗ったことがなく、滅多に見ない

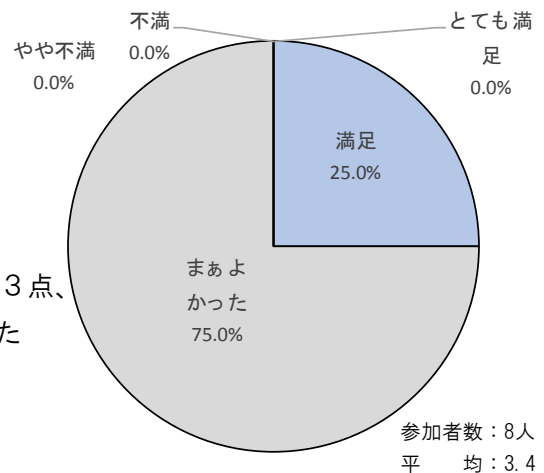
■第1回ワークショップの様子



■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満



平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの

○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・車での外出が出来ない事実
- ・今回は公共交通に関する問題のワークショップだが、それだけでは解決出来ない課題だと感じた。
- ・最後の外出についての話し合いでよくよく考えて、なかなか日常の行動範囲はせまく、移動すると遠くなり家の近くの動きは少ないと思った
- ・公共交通機関については、初めから全く頭になかったことに気づいた。それだけたよりにしていないということ。
- ・自家用車がないと不便な地域に住んでいることがわかった
- ・年とったら限られた（制限の多い）中での生活をしていくことが必要
- ・南北道路（交通）、坂の上下・・・あたり前すぎて気づかず

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・免許返納後の外出
- ・病院に行く人が多いのでそのバスツアー（場所まで行く）
- ・自家用車を運転出来るという条件付で生活が成立していることが参加者の発表で明確になっていた
- ・東西、南北の移動手段は車が主であると思った
- ・進行は上手。意見を引き出すことが上手だったと思う。
- ・我々の地域は買い物にしろ通院にしろ坂を上り下りしなければならない
- ・るのバスが走っていても利用できない

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・進行が分かりやすかった
- ・図を書いてわかりやすかったです
- ・参加者が自由に発言出来ていた
- ・どのように話がふくらむのかが心配になった
- ・われわれ住民にとって改めて交通手段の大切なことを認識させてくれた。こんご議論を進めたい。
- ・いろいろな意見が聞けた
- ・前段（前説）長すぎる